

Counseling Room

家庭問題カウンセリングルーム

第137回

公益社団法人
家庭問題情報センター

こみね りゅうじ
小峯 隆司

子どもがどうしても

父親に会おうとしません

父親から家庭裁判所に面会交流の調停申立てがなされました。母親としては子ども（10歳男児）のためにも会わせてあげたいと思っています。父親と同居していたときには仲良く遊んでいましたし、別居しても子どもは父親に会いたいものと思っておりました。そんな子どもが今、父親とは会いたくないと言います。子どもは何を考えているのでしょうか。

カ（カウンセラー） 今日で3回目の来

談ですね。その後いかがしましたか。

A（母親） 夫との離婚の話合いは平行線です。モラハラについても、DVについても認めようとしません。裁判所の調停は5回を終えましたが、何もまとまりません。その後、父親から面会交流の話が出されました。子どもと会えない期間だけが増えてしまうという理由です。

カ それでお母さんとしてはどのように考えておられますか。

A 離婚ができて、気持ち的にも落ち着いてから面会交流の話ができればと思っております。しかし中途半端なまま

面会交流の話をされました。納得が行かない感じというのが正直なところです。

カ そうですか。お子様はこの面会交流についてはどのように思っているみたいですか。

A 実は別居後も代理人弁護士事務所で何回か夫に会っているのです。そのときの様子は楽しそうでした。

カ そうですか。ところで今のお子様の様子はいかがですか。

A 開口一番、お父さんとは会いたくないと言います。予想もしませんでした。私が調停から帰ると暗い顔をしているのを子どもは見えていますし、父親のDVも知っているるので、子どもの生活を

支えているお母さんを苦しめた父親であることを、成長するにつれて子どもなりに分かってきているのかとも思っております。

カ これまでの、お子様が父親に会ってうれしかった感情をなぜか押し殺しているということですか。成長したと捉えてよいのでしょうか。

A そうだと思えます。しかし、父親は代理人弁護士を立てて強行に面会交流を敢行しようとしています。このままだと押し切られてしまいそうです。

カ もう少しお子様と父親とで何回か行った面会交流の様子を聞かせていただけますか。

A 3回くらい面会交流を行い、最後に
行ったのが2か月くらい前です。

カ ほんのつい最近まで父親と楽しく過
ごしていたのですね。このようにお子
様の主張が変わってしまったというこ
とについて、何かお気づきなことはご
ざいますか。

A 分かりませんが、成長したのかなと
思っておりますし、その主張を大切に
したいとも思っております。

カ ところでその3回ほどの面会交流後
に何か様子に変化があったようなこと
はありませんでしたか。

A ないと思います。

カ 例えば、お子様がどこかよそよそし
くなったとか。

A 最近はまだ母親に話しかけてくる
ことは減ったかなという感じはありま
す。それも思春期が近づいて大人になっ
てきたからなのかなと思っていました。

カ 面会交流ではどのようなことをして
過ごしているのでしょうか。

A 弁護士事務所でも私も弁護士も関わ
らないようにしているので細かなとこ
ろは分かりません。よくカードゲーム
をしたり、オセロゲームをしたり、ゲー
ムをして過ごすことが多いようです。よ

く父親から話しかけているようです。夫
は私とは離婚をしたくないというのが本
音で、私のことや子どもの小学校のこと
など知りたがってはいると思います。

カ お子様も10歳を超えていますし、お
そらく自分の考えを述べることはでき
るものと思われます。一度それとなく
聞いてみるのも良いのかもしれない。

A 何回か聞いてみたこともあるのです
が、「会いたくない」の一点張りです。

カ お子様は、母親が父親から攻撃を受
けてきた被害者であることを知ってい
ます。母親が父親をよく思っていない
ことも知っています。そんな中でお子
様が父親に会うことの母親に対する後
ろめたさはあるのではないかと思われ
ます。このような状況を背景に、もう
一度お子様の様子を伺う機会を持つて
みたらいかがでしょうか。

A それでは、もう一度じっくり子ども
の話聞いてみたいと思います。

——2か月後——

カ さて、前回のカウンセリングから2
か月が経ちましたが、お子様とは話を
する機会は取れましたか。

A 話す機会を持つことができました。
いかがでしたか。

A 実はあるエピソードが分かりました。

3回目の面会交流のときだったそうで
すが、父親から「転校した小学校の名
前を教えてください」としつこく言われ、
とうとう喋ってしまったそうです。その
とき子どもは「しまった」と思ったよう
です。そのことがあったので喋ったこと
は母には言わずに、以後の面会交流は「会
いたくない」と言っていたようです。

カ そのことを聞いてお母さまはどのよ
うなお声がけをしましたか。

A 「よく話してくれたね」と褒めてあ
げました。しかし、取りあえず弁護士
にはその事実を伝えて予防的な措置は
取ってもらいました。

その後、お子様はお母様に内緒にし
ていたことが話せてすつきりしたのか、
さらに弁護士事務所での面会交流を続
けていくことができているとのことだ
した。面会交流は、そのときそのとき
の小さなことからつまずいてしまうこ
とがあります。その都
度、監護親かんごしんと子どもと
で十分に話し、確かめ
ていくことが次につな
がるように思います。

